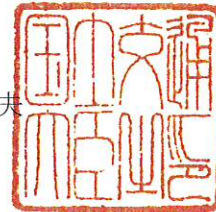


認定書

国住参建第 2501 号
令和 6 年 10 月 31 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1300
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ230mm以下)
	面積	0.0416m ² 以下
占積率 (開口面積又は鋼製スリーブ内径面積に対する 配管の断面積の割合)		68.1%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ : 3.18(±0.1)mm以上 幅 : 95mm以上(床上部又は床下部から埋没部95mm以上)
		使用箇所	配管の外周部に1周以上巻き付け (突き合わせ又はオーバーラップ)
	表面材 (充てん材側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ
		厚さ	0.18(±0.1)mm以上
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	
		密度	
		組成 (質量%)	
	裏面材 (配管側)	材料	仕様 : あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05mm以下
充てん材①	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75	
	充てん量	配管とスリーブ又は配管と躯体(床)との隙間に密に充てん(床厚方向 100mm以上)	
充てん材②	材料	仕様 : あり又はなし セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75	
	充てん量	スリーブと躯体(床)との隙間に密に充てん (床厚方向 100mm以上)	

表3 配管の仕様

項目		仕様			
配管 (給水管・排水管)	直管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (記号：VP、HIVP、VU、HT) (ただし、JISに規定する外径及び厚さ以外の管については、規定された要求性能を満足するもの)	φ165mm以下	9.7mm以下	
		リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798) (記号：RF-VP)			
被覆材 (後付タイプ) (あり又はなし)	発泡ポリエチレン系	外径	φ80mm以下 (仕上がり外径)	10mm以下	厚さ
	発泡架橋ポリエチレン系				
	発泡ポリウレタン系				
	発泡ポリスチレン系				
	発泡ポリプロピレン系				
	発泡フェノール系				
	発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)				
	発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム)				
	グラスウール(JIS A 9504)				
	ロックウール(JIS A 9504)				
	セラミックウール(JIS R 3311)				
使用方法	必要に応じて、配管(硬質ポリ塩化ビニル管：φ60mm以下)に用いる				

4. 副構成材料の仕様：

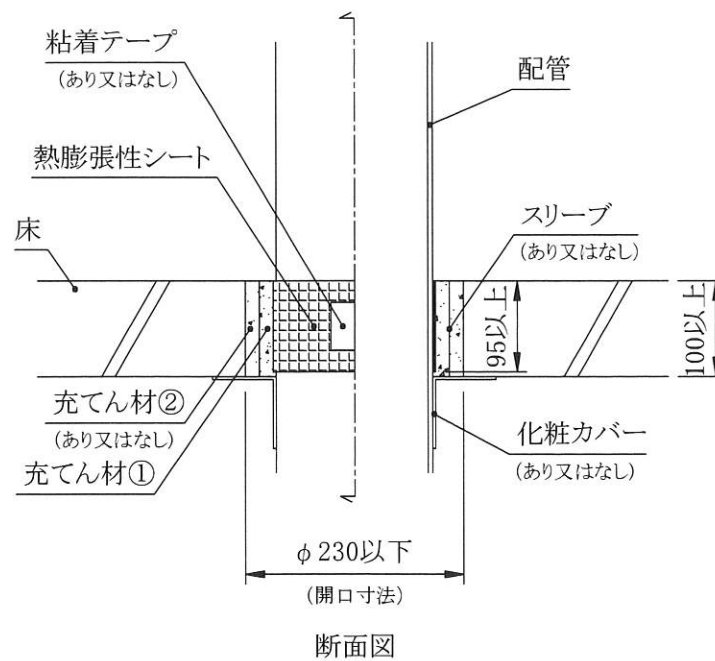
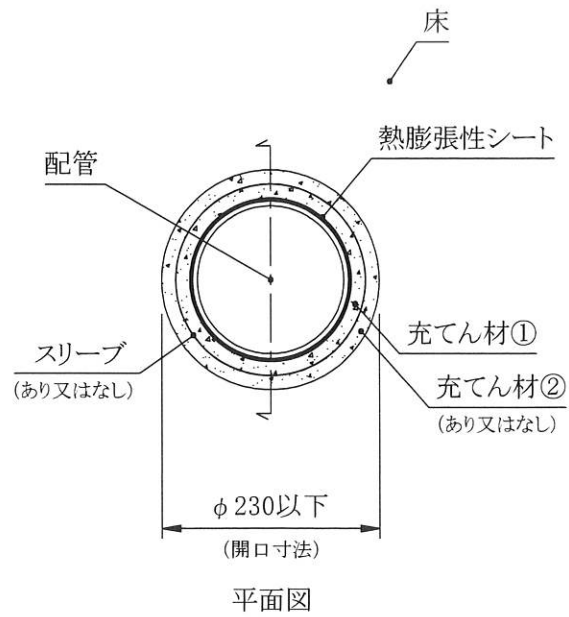
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
スリーブ	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①鋼製(めっき処理、焼付塗装品含む) ②ステンレス鋼板
	寸法	厚さ：0.25mm以上 幅：100mm以上 床上部露出寸法：100mm以下
	使用方法	必要に応じて、床上上部に露出して良い
化粧カバー	材料	仕様：あり又はなし アルミニウムはく張ポリエチレンフォーム(アクリル樹脂系粘着剤あり)
	寸法	厚さ：3mm以下(アルミニウムはく：0.02~0.08mm) 大きさ：400×400mm以下
	使用方法	必要に応じて、床下面に使用
粘着テープ	材料	仕様：あり又はなし ①~⑥の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリエステル系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系 ⑥ガラスクロス系
	寸法	厚さ：0.2mm以下、幅：50mm以下
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シートの固定に使用

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図5に示す。

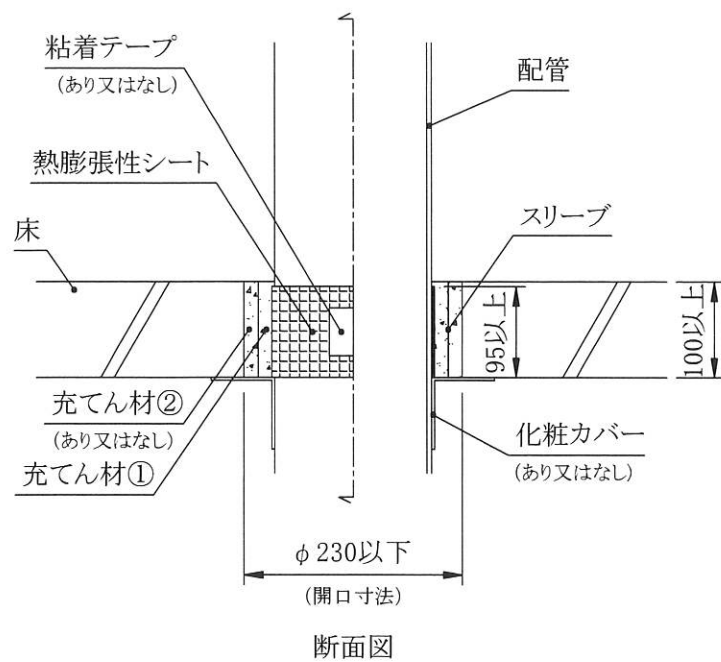
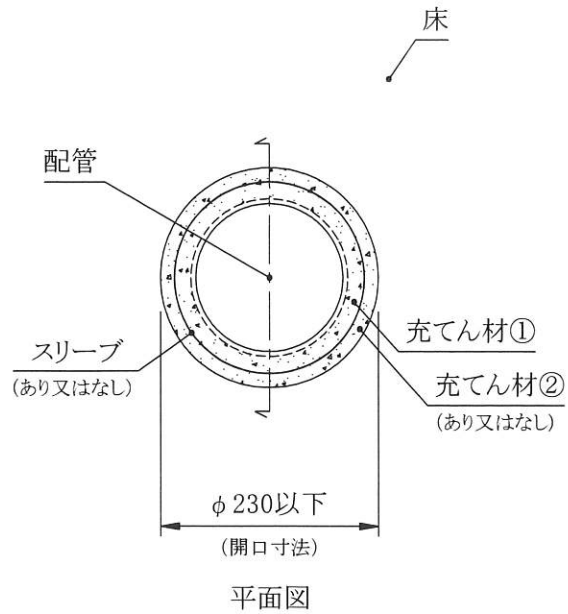
単位 mm



配管貫通の一例（熱膨張性シートを床上部に使用する場合）

図1 構造説明図(施工図)

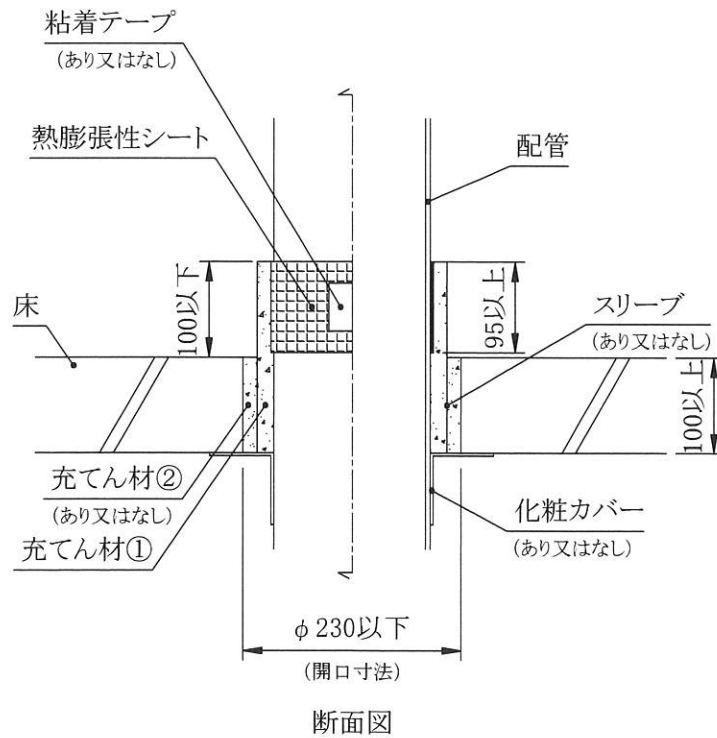
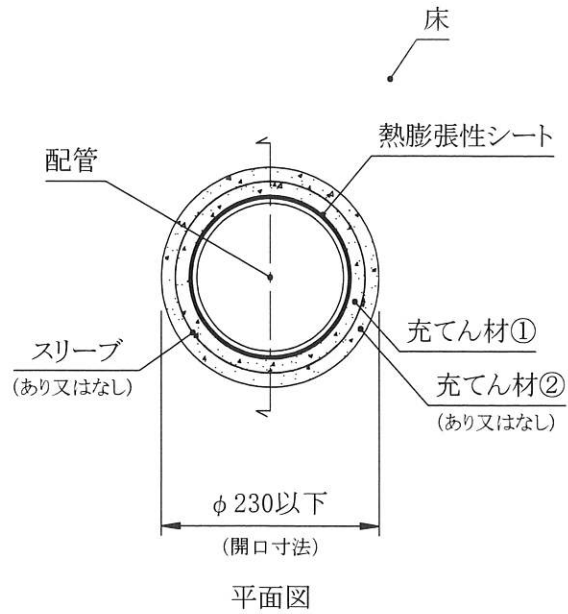
単位 mm



配管貫通の一例（熱膨張性シートを床下部に使用する場合）

図2 構造説明図(施工図)

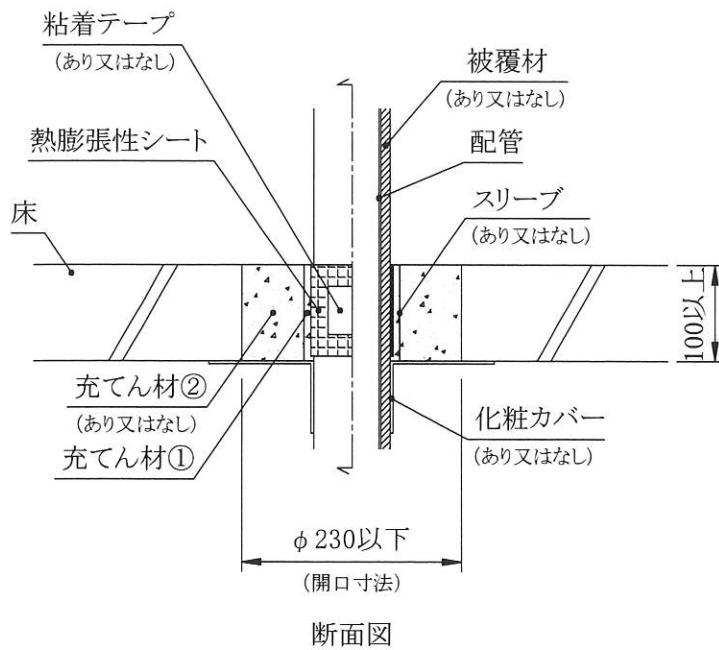
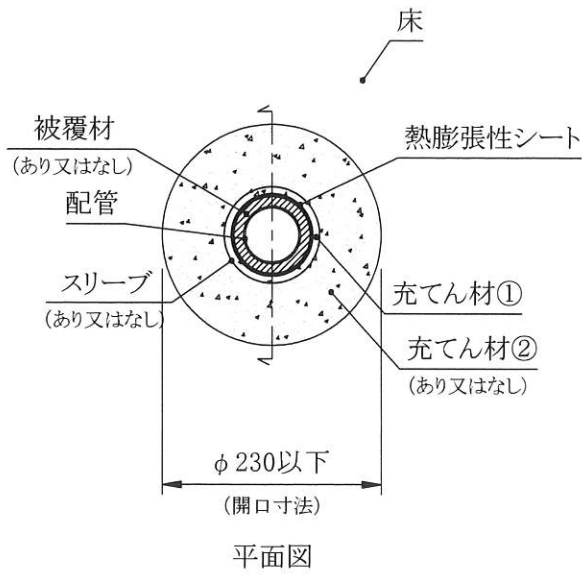
単位 mm



配管貫通の一例 (スリーブが床上上部に露出する場合)

図3 構造説明図(施工図)

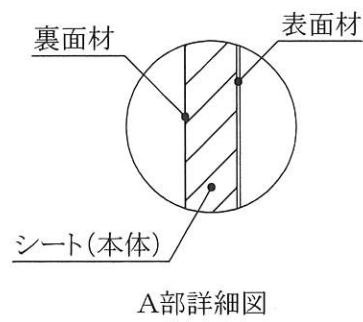
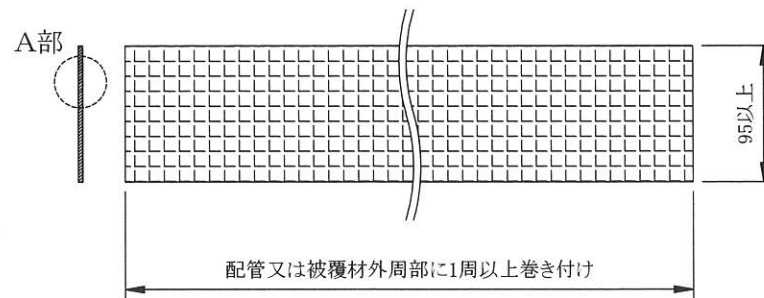
単位 mm



被覆付配管貫通の一例

図4 構造説明図(施工図)

単位 mm



熱膨張性シートの詳細図

図5 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 貫通開口部の設定

ボイド管やスリーブ、コアドリル等を用いて貫通孔を設ける。

(2) 配管等の設置

配管等を設置して支持・固定する。

(3) 熱膨張性シートの巻き付け

配管に熱膨張性シートを1周以上(突き合わせ又はオーバーラップ)巻き付け、必要に応じて粘着テープで、熱膨張性シートを固定する。

熱膨張性シートの長さが足りない場合、隙間が生じないように熱膨張性シートを2枚繋げても良い。また、必要に応じて粘着テープで、熱膨張性シートを固定する。

(熱膨張性シートの接続箇所、巻き始め、巻き終わり3箇所以下)

(4) 熱膨張性シートの設置

熱膨張性シートを95mm以上埋め戻すようにスライドさせる。

熱膨張性シートの幅が95mmを超える場合は、超えた分が床からはみ出しているも良い。

(5) 充てん材の埋め戻し

配管とスリーブ、又は配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を床厚方向100mm以上密に充てんする。

(6) 化粧カバーの設置

必要に応じて、化粧カバーを床下面に設置する。